

授業科目	母性看護学概論	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	正岡 経子 (保健医療学研究棟 E310 号) e-mail : k.masaoka@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	前田 尚美、植木 瞳、中村 彩希子、(吉 裕子)、(佐藤 みはる)		
概要	本科目では、母性とは何かを考え、母性をめぐるさまざまな定義を理解すると共に、女性の健康について国内外の母子保健の動向およびライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的な観点から幅広く理解し、女性のライフサイクルに関わる母性看護の特性と役割について学習する。また、リプロダクティブヘルスに関わる倫理的課題を通して、看護者の役割を考察する。		
到達目標	1. 母性看護の目的および役割・機能を説明できる。 2. 母子保健の動向および法制度を説明できる。 3. 女性のライフサイクル各期の健康課題と母性看護の役割について説明できる。 4. リプロダクティブヘルスにおける倫理・社会的問題を理解し、看護者の役割を記述できる。		
関連科目	ジェンダー論、倫理と哲学、疾病治療論3、母性看護方法		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	80%	筆記試験：6割以上で合格とする。 提出物：母性看護概論の学習からテーマを選択し、看護職の役割について自己の考察を記述する。文献を引用しながら自己の考えを記述できているかを評価のポイントとする。
	提出物	20%	
教科書	①森 恵美 [最新版] 「系統看護学講座 母性看護学概論」 医学書院		
参考書	①有森直子 [2020 年] 「女性・家族に寄り添い健康を支えるウイメンズヘルスケアの追求」 医歯薬出版株式会社		
履修上の留意点	さまざまなライフサイクルにある女性の健康について、自分自身または身近な女性に置き換えて健康課題と看護者の役割を考えること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 母性の概念と歴史の変遷 母性看護の目的および役割・機能 母子保健の動向と健康施策	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載	講義	正岡
2	女性のライフサイクル各期の健康問題とヘルスプロモーション	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載	〃	前田
3	思春期における母性看護活動 ～小学生から高校生を対象とした性教育の実際～	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載	〃	(吉)
4	更年期における母性看護活動 ～更年期女性を対象とした健康教育の実際～	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載	〃	(佐藤)
5	母性看護における生命倫理① ・事例や記事を通して母性看護領域における生命倫理に関わる現状と課題を知る	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載。配布資料を読む	講義・グループ討議	正岡・中村
6	母性看護における生命倫理② ・当事者および家族の現状を基に生命倫理に関する自己と他者の考えをまとめ、看護者の役割について考える	事前：配付資料を読む 事後：レポート作成	〃	〃
7	セクシャルリプロダクティブヘルス	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：ミニレポートの記載	講義	植木

8	多様化する子育ての現状と看護職の役割	事前：配布資料を読む 事後：ミニレポート記載	グループ 討議	植木
---	--------------------	---------------------------	------------	----